〝読書習慣〟が定着

結の地域文庫 チビッ子に人気

チビッ子にモテモテの結の地域文庫

結の地域文庫が、チビッ子をはじめ地区のママさんや勤め帰りの人たちから大いに利用され、ここ開設以来、読書週間のない〝読書習慣〟が定着しています。

この地域文庫は、法厳寺のご厚意と「近くに図書室が」という地元ママさんグループの要望で、昨年十二月、結地区にお寺の一室の開放を受けて開設されたものです。

金曜日の夜を除いては、毎日午後一時から八時までの休館日なし。だれでも、いつでも気軽に本が手にできるとあって、地区の大ぜいの人から親しまれ好評です。

本堂の隣りがミニ文庫、書箱の中には図書館から配本を受けた三百冊ほどの本が並んでいます。中でも子ども向けの本が七〇%くらいもあって、チビッ子の利用率はバツグンです。

ランドセルをしょった下校途中の子どもたちは、気ままに本を選んでは「図書貸出帳」に記入と、もっぱら自主運営。お寺の光井さんがお世話に当たっています。

子どもたちはどんな本を読んでいるのかなぁ——あるある貸出帳をのぞくと同じ傾向の本がいくつもでてきました。

日本の歴史・童話・クイズなどの本がなんといっても王様格。なぜなぜじてん、めいたんてい入門、宇宙と星のふしぎ、ペットの飼い方などにも人気が集中。それに天才バカボンなどマンガや絵で見る書物も多くありました。

利用件数は、開設以来すでに七百件を超え、千冊以上の図書が地区の人たちに利用されています。

市の図書館では〝貸出帳〟の傾向もみながら、三か月に一回の割合いで本を替え、さらに増冊も計画しています。

緑と野鳥の熊沢公園へ

お出かけください

新緑の秋葉山、ここはみどりと野鳥の宝庫です。

旧見晴し台から整備された遊歩道を通って熊沢公園へ。およそ一キロちょっとの道のりです。

熊沢公園には、昨年市がベンチやさく、便所などを新設して、かっこうの憩の地となりました。それにここ一帯は、野鳥群も五十種類も超えるとか。自然の観察に、レクリエーションに、初夏の一日を家族おそろいで、また友だちどうしでぜひお出かけになってはいかがでしょう。

犬の放飼いやめようネ

飼育と事故防止十分に

「飛びつかれた、かみつかれた」——犬に危害をこうむったという事故は、ひんぱんに起きています。とくに年のいかない子どもたちにとって〝放し飼い犬〟は、間違いなく恐怖のまとです。犬の飼育と事故防止には十分気をつけてください。

- 犬の放し飼いは絶対にやめよう。
- 犬をひき運動させる場合は、丈夫な綱で、しかも犬の力にまけない人が…。
- かみつくクセのある犬、気性の荒い犬には必ず口輪を。

なお事故が発生したら、医師による治療はもちろんのこと、状況などをすぐに市役所保健課、または保健所へ連絡しましょう。

古井戸に注意して

山菜取りの絶好のシーズンです。でも、秋葉山系につづく周辺は、かつて石油を量産した〝手掘り井戸〟のあとが残っていて、遊歩道やサクを越えたヤブの中などに点在しています。山菜取りに夢中になって〝古井戸〟に気づかず足元を見失っては大変です。

市では「この周辺は古井戸があります。立ち入らないでください」と注意板を立てています。遊歩道やサクを越えないようご協力ください。

日赤の加入に協力して

日本赤十字社では、六月の末まで「社員増強運動月間」と決め、一人でも多くの加入者を募っています。

赤十字社は、人道、博愛、奉仕の三大精神を柱に多くの活動を行っています。

事業のすべては、みなさんから社員として加入していただいた社費(年三百円以上)によってまかなわれています。ですから社費の増減は、直接活動に大きく影響します。

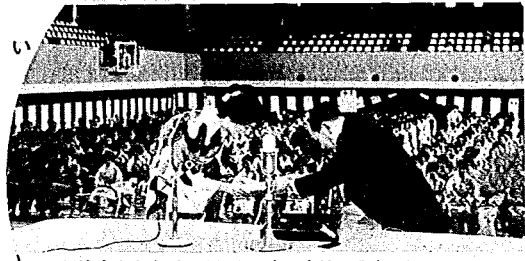
昨年度の新津市では、目標額二百六万五千円に対し、九五・七%の加入率で、目標にわずかおよびませんでした。

今年度の目標は、二百三十七万八千円です。区長さんや日赤協賛委員のみなさんたちが、いまみなさんのお宅を回って、一生懸命加入を呼びかけています。みんなで助け合うため、ぜひご協力、ご加入ください。

お買物、ご用命は市内で

看板■車輌文字専門
技術本位……
こ本看板店
新津市本町1 TEL (2)—1380

MEN'S LADY'S コート&スーツ
男の服 いつちだ
新津市本町2 ☎(4)0648
ファッション Mimi
☎(4)0658



新津市成人式が、5月3日市民会館で盛大に行われ、およそ600名近くの新成人者が参加、憲法記念日に〝はたち〟を祝福しました。

新成人者は、式典終了後、映画評論家の荻昌弘氏から〝成人を迎えるあなたに〟と題したお話しを聞きました。

以下、講演要旨をご紹介します。

成人を迎えるあなたに

映画評論家 荻昌弘氏

みなさん、成人おめでとうございます。今日成人を迎えられた皆さんに、はなむけのことばとして二つ三つ話してみたいと思います。

実は私、毎週土曜日のラジオで時評のような、ナマ放送をやっているのですが、今朝も新潟のホテルで相手役である歌手の友竹正則さんと打ち合わせの時、ここ新津市で成人式に記念講演をすることが話題になりました。彼も言ってましたが、「ぼくらが20歳を迎えたころは、〝おまえは日本のために死ぬ時が来たんだ〟と言われる時です」と。

私の場合も、16歳で太平洋戦争が始まり、19歳で徴兵検査、20歳に九州の壱岐の島で初年兵、そしてすぐ終戦でした。幸い生きのびて、昭和21年に今やっているしごとの映画評論の道へ入りました。私にとってあなた方と同じころは、一番大きな人生の曲り角だったわけです。

完全に死ぬ時節に入りながら、今度は一変して生きなければならない、そのカーブの時でした。

ところでそれから30年後の今日はその第一日目です。私にとって、ちょうどあなた方の年が一番人生の激しいカーブの時でしたが、日本の一番大変な時期に成人を迎えさせてもらったというのは、考え方によってはありがたいことだと思うのです。その点あなた方は非常に複雑な時期に迎えられたようです。

あなた方のこの20年間は、日本が経済的に成長に成長を続けた20年でした。でもこれから入っていく社会は、今までの20年間の社会とはまったく違う社会、時代です。このむずかしい時代に成人を迎えられた事は、非常にやりがいがあると思います。そしてこれから自分自身で新しい価値体系をつくり出して、それを世の中に示していくことが必要ではないかと思うのです。

子どもが大人になるということは、自分のまわりの他人が見え出してくることだと思います。他人と自分とで世界が成り立っていることに気が付く時です。そのためには、うんと本を読み、映画を見、音楽を聴いて〝人間〟を相手にして世間に出て、おとなになってもらいたいのです。青春時代と言われる時期には、いろいろな問題が出て来ますが、それはすべて、自分と他人との関係ばかりです。必ず、失恋を体験したり、孤独にとりつかれたりするでしょう。今は自信に満ちている人も、必ずどこかで自信をなくし、挫折感を感じる時が来ます。それから逃げたのではおしまいです。それにいかにまともに立ち向かっていけるかが〝おとな〟にさせるか、このままに終わらせるか——の境めだと思います。

自分と他人との間で他人を生かす事は非常にむずかしい事です。先ほど、謝辞で代表の方が理想と現実の違いを言われました。これは大変大切なことです。絶えずこの食い違いに悩み続けるでしょう。その悩みをまともに受けとめる人ほど立派になるのではないかと思います。心の中に純粋な理想を抱いていても、現実と理想の二つに自分はいかに生きていくかが人間の在り方だと思います。毎日毎日、そのいかに生きるかの解答を要求されながら生きていくのが、これからのあなた方の人生だと思います。

私がこの成人式に出させてもらい、ぜひ、もうひとつお願いをしたいのがあります。それは、人に喜こばれるような人間になってもらいながらも、いやな事はハッキリと「いやだ」と言える人間になってほしいということです。

例えば、仕事というものは、ひき受けるよりも断わることがいっそうむずかしいことです。いやなことは断わる、そういう強い人間になってほしいのです。あなた方の子どもがまた成人を迎え、〝生きる〟というすばらしさを迎えるためには、いやなことはいやだと拒否の意志表示をする、そういう強い人間になってほしいと思うのです。今日のみなさん方には心からおめでとうを言いたい、成人おめでとう。

お買物、ご用命は市内で

表具
鈴木一心堂
一級技能士 法定防火壁装工事店
訓練指導員 建設業登録店
本町3☎2-2035

人形製作の杉並
日本人形・木目人形・其の他人形
(ごてんまりケース・俵ケース有ります)
人形手作り注文に応じます
杉並人形製作販売店
新町3 ② 1216